

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和5年度上半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進

(4) 日常生活を支援する体制の整備				
評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
⑧協議体開催数 ※年間合計	介護	3回	1回	B
		開催数は良好。昨年度検討していた事項をさらに深掘りしていくための協議を行った。		
⑨-1 生活支援コーディネーターによる地域のニーズ等把握件数 ※年間合計	介護	60件 (*)	28件	B
		目標値には未達であるが、地域の居場所への現状把握は十分に行うことができた。		
⑨-2 生活支援コーディネーターによる地域資源把握件数 ※年間合計	地域	72件 (*)	24件	C
		生活支援コーディネーターは工夫して活動しているが、目標値は未達である。		

(*) 令和4年度下半期から目標値修正

- ⑨-1 年間目標値 72件（6件/月）→
60件（5件/月）
- ⑨-2 年間目標値 96件（8件/月）→
72件（6件/月）

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

担当部署評価

協議体は昨年度までの議論を受け、今年度末に、より具体的政策提言ができるよう準備を進めている。生活支援コーディネーターは専従として活動することが難しい中、工夫して活動しているものの、実績値は伸び悩んでいる。今後は、地域のニーズと地域資源のマッチングに注力していく必要がある。

(評価委員会評価は裏面に記載)

評価委員会評価

生活支援コーディネーターの地域資源把握について、担い手と地域団体の後継者が見出しにくいという課題がある。また、生活支援コーディネーターによる地域資源把握件数について、修正した目標値に届いていない点も課題である。今後、第8期計画策定の目標値に到達することが難しい場合は、人員配置や予算についても第9期計画では検討してほしい。また、第9期計画においては、各事業の優先度を示していただけると、評価委員会で検討しやすい。